

| No. | 項目 | Font | Font Size | 出力形式 | 長さ byte | 出力仕様 | |
|-----|-------------|----------------|-----------|-------------|--------------|---|---|
| 1 | カナ氏名 | MS明朝 | 10.8 | N | 20 × 2 | カナ氏名を20バイトずつ、2行に出力する。 | |
| 2 | 生年月日 | MS明朝 | 10.8 | 昭和EE年MM月DD日 | 16 | 生年月日を和暦（昭和）で出力する。 | |
| 3 | 性別／年齢 | 性別 | MS明朝 | 10.8 | N | 2 | 1：男 2：女 |
| 4 | | 年齢 | MS明朝 | 10.8 | zz9 | 3 | 健診時の満年齢を出力する。 |
| 5 | 健診年月日 | MS明朝 | 10.8 | YYYY年MM月DD日 | 14 | 健診日を西暦で出力する。 | |
| 6 | 特定健康診査受診券番号 | MS明朝 | 10.8 | X | 10 | 受診券番号を出力する。 | |
| 7 | 既往歴 | 脳血管・心疾患・腎不全・貧血 | MS明朝 | 10.8 | N | 34 × 4 | 質問票既往歴（脳血管・心疾患・腎不全・貧血）において、「1：はい」と回答があった病名について、1行ずつ出力する（最大4行）： 脳血管が「1：はい」のとき：「脳血管について既往歴あり」を出力 心疾患が「1：はい」のとき：「心疾患について既往歴あり」を出力 腎不全が「1：はい」のとき：「腎不全・人工透析について既往歴あり」を出力 貧血が「1：はい」のとき：「貧血について既往歴あり」を出力 |
| 8 | | その他 | MS明朝 | 10.8 | N | 34 × 3 | 入力票「その他の既往歴」において入力された2つのコード値に対応した病名をそれぞれ1行ずつ出力する（最大3行）。 |
| 9 | 服薬歴 | MS明朝 | 10.8 | N | 16 | 質問票服薬歴（血圧・血糖・脂質）において、「1：服薬あり」と回答があった病名を各項目間に全角スペースを1つ入れて出力する。 血圧が「1：服薬あり」のとき：「血圧」を出力 血糖が「1：服薬あり」のとき：「血糖」を出力 脂質が「1：服薬あり」のとき：「脂質」を出力 | |
| 10 | 喫煙歴 | MS明朝 | 10.8 | N | 4 | 質問票喫煙歴において、「1：はい」と回答があったとき、「あり」と出力する。 | |
| 11 | 飲酒 | MS明朝 | 10.8 | N | 16 | 質問票飲酒状況において、入力された回答コードに対応した文言を出力する： 1：毎日 2：時々 3：ほとんど飲まない | |
| 12 | 自覚症状 | MS明朝 | 10.8 | N | 34 × 3 | 入力票「自覚症状」において入力された2つのコード値に対応した病名をそれぞれ1行ずつ出力する（最大3行）。 入力がない場合は空白とする。 | |
| 13 | 他覚症状 | MS明朝 | 10.8 | N | 34 × 3 | 入力票「他覚症状」において入力された2つのコード値に対応した病名をそれぞれ1行ずつ出力する（最大3行）。 入力がない場合は空白とする。 | |
| 14 | 検査結果 | 健診実施日 | MS明朝 | 10.8 | YYYY年MM月DD日 | 14 | 健診日を西暦で出力する。 |

| No. | 項目 | Font | Font Size | 出力形式 | 長さ byte | 出力仕様 |
|-----|-------|------|-----------|-------------|--------------|--|
| 15 | 基準値 | クーリエ | 10.8 | 999.9~999.9 | 10 | 機関番号から団体コードを取得し、該当団体の基準値マスタに登録されている基準値を出力する。 上限値・下限値とも値が設定されている場合：999.9~999.9 上限値がない場合：999.9~ 下限値がない場合：~999.9 上限値・下限値とも値が設定されていない場合（基準値がない場合）：（何も出力しない） |
| 16 | 結果値 | クーリエ | 10.8 | X | 1 | 各検査の異常値マークを出力する。 該当検査が定量値をとる検査であり、かつその値が基準値上限よりも大きな値である場合は「H」、基準値下限よりも小さな値である場合は「L」を出力する。 空腹時血糖において、採血時間が「2：随時」のとき、「*」を出力する。 |
| | | | | zzz9.9 | 6 | 各検査の結果値を出力する。 検査結果は異常値マークに続けて6バイトのエリアを使用して出力する。 該当検査が定量値をとる検査のとき： zzz9.9 該当検査が定性値をとる検査のとき： (－) (±) (+) (2+) (3+) 該当検査が「測定不能」であったとき： ***** |
| 17 | 健診実施日 | MS明朝 | 10.8 | YYYY年MM月DD日 | 14 | 健診日を西暦で出力する。 |
| 18 | 心電図所見 | MS明朝 | 10.8 | N | 26 × 4 | 1行目には判定区分を出力する： 所見が「2：異常所見なし」のとき：「異常所見なし」を出力 判定区分が「1：軽度異常」のとき：「軽度異常」を出力 判定区分が「2：異常」のとき：「異常」を出力 判定区分が「3：要観察」のとき：「要観察」を出力 判定区分が「4：要精密検査」のとき：「要精密検査」を出力 2～4行目には、他所見で入力された3つのコード値に対応した所見をそれぞれ1行ずつ出力する（最大3行）。 |

| No. | 項目 | Font | Font Size | 出力形式 | 長さ byte | 出力仕様 |
|-----|------|------|-----------|------|--------------|--|
| 19 | 眼底所見 | MS明朝 | 10.8 | N | 26 × 6 | <p>KW、Sheie S、Sheie H、SCOTT、その他の所見（糖尿病性網膜症判定、D a v i s分類、及びフリー入力された所見を含む）の順で、入力のあった結果のみを最大6行にわたって出力する：</p> <p>KWの値が1のとき：「キースワグナー：0」を出力 KWの値が2のとき：「キースワグナー：I」を出力 KWの値が3のとき：「キースワグナー：II a」を出力 KWの値が4のとき：「キースワグナー：II b」を出力 KWの値が5のとき：「キースワグナー：III」を出力 KWの値が6のとき：「キースワグナー：IV」を出力</p> <p>Sheie Sの値が1のとき：「シェイエS：0」を出力（0は全角） Sheie Sの値が2のとき：「シェイエS：1」を出力（1は全角） Sheie Sの値が3のとき：「シェイエS：2」を出力（2は全角） Sheie Sの値が4のとき：「シェイエS：3」を出力（3は全角） Sheie Sの値が5のとき：「シェイエS：4」を出力（4は全角）</p> <p>Sheie Hの値が1のとき：「シェイエH：0」を出力（0は全角） Sheie Hの値が2のとき：「シェイエH：1」を出力（1は全角） Sheie Hの値が3のとき：「シェイエH：2」を出力（2は全角） Sheie Hの値が4のとき：「シェイエH：3」を出力（3は全角） Sheie Hの値が5のとき：「シェイエH：4」を出力（4は全角）</p> <p>SCOTTの値が1のとき：「SCOTT：I a」を出力 SCOTTの値が2のとき：「SCOTT：I b」を出力 SCOTTの値が3のとき：「SCOTT：II」を出力 SCOTTの値が4のとき：「SCOTT：III a」を出力 SCOTTの値が5のとき：「SCOTT：III b」を出力 SCOTTの値が6のとき：「SCOTT：IV」を出力 SCOTTの値が7のとき：「SCOTT：V a」を出力 SCOTTの値が8のとき：「SCOTT：V b」を出力 SCOTTの値が9のとき：「SCOTT：VI」を出力</p> <p>その他の所見に入力があった場合は、左詰で26バイトを出力する。</p> <p>【補足】 (1) D a v i s分類の結果は、「その他の所見」として管理される。 (2) 糖尿病性網膜症が「1：異常なし」のとき、運用上、SCOTT分類とD a v i s分類には値が入力されない。しかし、誤ってD a v i s分類に入力があった場合、D a v i s分類は「その他の所見」として管理されているため、フリー入力された所見と区別がつかず、出力を制限できない。ここでは、「糖尿病性網膜症」の結果と「SCOTT分類」、及び「D a v i s分類」の結果有無の関連チェックは行わない。</p> |

| No. | 項目 | Font | Font Size | 出力形式 | 長さ byte | 出力仕様 |
|-----|----------------|------|-----------|------|--------------|--|
| | | | | | | <p>【参考】「その他の所見」への値設定内容</p> <p>(1) 糖尿病性網膜症の値が1のとき:「糖尿病性網膜症:異常なし」</p> <p>(2) Davis分類の値が1のとき:「Davis:単純網膜症」</p> <p>Davis分類の値が2のとき:「Davis:増殖前網膜症」</p> <p>Davis分類の値が3のとき:「Davis:増殖網膜症」</p> |
| 20 | メタボリックシンドローム判定 | MS明朝 | 12 | N | 10 | 「メタボリックシンドローム判定」において入力されたコード値に対応した判定名を出力する。 |
| 21 | 検査分野別判定 | MS明朝 | 10.8 | N | 30 × 5 | <p>血圧、血中脂質、肝機能、血糖、尿それぞれの検査分野別判定について、最大5行にわたり下記のコメントを出力する:</p> <p>血圧 が「1:正常」の場合:「血圧は正常です。」</p> <p>「2:異常」の場合:「血圧に異常が認められます。」</p> <p>血中脂質が「1:正常」の場合:「脂質検査は正常です。」</p> <p>「2:異常」の場合:「脂質検査に異常が認められます。」</p> <p>肝機能が「1:正常」の場合:「肝機能検査は正常です。」</p> <p>「2:異常」の場合:「肝機能検査に異常が認められます。」</p> <p>血糖 が「1:正常」の場合:「血糖検査は正常です。」</p> <p>「2:異常」の場合:「血糖検査に異常が認められます。」</p> <p>尿 が「1:正常」の場合:「尿検査は正常です。」</p> <p>「2:異常」の場合:「尿検査に異常が認められます。」</p> |

| No. | 項目 | Font | Font Size | 出力形式 | 長さ byte | 出力仕様 |
|-----|--------|--------------|-----------|------|--------------|--|
| 22 | 医師の判断 | MS明朝 | 10.8 | N | 78 × 4 | <p>1行目には医師の判断に基づく医師のコメントを出力する：</p> <p>医師の判断が「1：異常認めず」のとき：今回健診の医師の総合判断は「異常なし」です。 医師の判断が「2：要観察」のとき：今回健診の医師の総合判断は「要観察」です。 医師の判断が「3：要指導」のとき：今回健診の医師の総合判断は「要指導」です。 医師の判断が「4：治療中」のとき：今回健診の医師の総合判断は「治療中」です。 医師の判断が「5：要医療」のとき：今回健診の医師の総合判断は「要医療」です。</p> <p>2行目～4行目には詳細健診（貧血、心電図、眼底）の実施理由において、「1：質問票」または「2：診察」と入力されている場合のみ、先述した順に最大3行に渡り下記のコメントを出力する：</p> <p>貧血の実施理由が「1：質問票」のとき： 「貧血検査：質問票の回答結果により実施」 貧血の実施理由が「2：診察」のとき： 「貧血検査：医師の診察により実施」</p> <p>心電図の実施理由が「1：質問票」のとき： 「心電図検査：前年度結果、及び質問票の回答結果により実施」 心電図の実施理由が「2：診察」のとき： 「心電図検査：前年度結果、及び医師の診察により実施」</p> <p>眼底の実施理由が「1：質問票」のとき： 「眼底検査：前年度結果、及び質問票の回答結果により実施」 眼底の実施理由が「2：診察」のとき： 「眼底検査：前年度結果、及び医師の診察により実施」</p> |
| 23 | 医師の氏名 | MS明朝 | 12 | N | 30 | 「医師の氏名」において入力された内容を出力する。 |
| 24 | フリーエリア | MS明朝 クーリエ | 10.8 | | 98 × 8 | <p>非特定健診の検査結果が入力されていた場合は、1行目に下記文言を出力する： 「今回非特定健診」</p> <p>2行目は空行とする。</p> <p>3行目には、非特定健診項目について基準値範囲外の検査が存在したとき、下記文言を出力する： 「非特定健診にて異常値となった検査があります。医師にご相談ください。」</p> <p>各非特定健診検査項目に対して、結果値の入力がある検査のみを下記の出力仕様に基づいて出力する（1行に最大2検査の結果を出力する。検査の間は4バイト空ける）： NNNNNNNNXXXXXXXX△△X△△zzz9.9 ① ② ③ ④</p> <p>①検査項目名を最大18バイトで出力する ②単位の両側を括弧で囲んで出力する（最大7バイト左詰め） ③異常値マーク（H/L）を出力する ④検査結果値を出力する（測定不能の場合は、「*****」を出力する） ※①+②+③+④+4sp=36バイト</p> |

| No. | 項目 | Font | Font Size | 出力形式 | 長さ byte | 出力仕様 |
|-----|--------------|------|-----------|------|------------|--|
| 25 | 健診実施医療 機関 | MS明朝 | 10.8 | | | 機関番号から会員機関マスタを参照し、下記の出力仕様に基づいて出力する： 1 段目：医療機関名（この行だけ12pt、Bold体で出力する） 2 段目：郵便番号 3～4 段目：住所 5 段目：電話番号 |